

遠隔職場実習

～株式会社「沖ワークウェル」～

本校教育部：進路指導係

☆遠隔職場実習って？！

2022年3月7日から11日までの5日間、本校教育部の高等部の生徒2名が東京の企業「**沖ワークウェル**」様と実習を行いました！東京と本校とは遠く離れていますが、**オンラインで指導をいただく遠隔職場実習**なら大丈夫。ビジネス文書の作成や請求書の作成、それぞれの生徒の得意なことに合わせた内容などを指導していただきました。

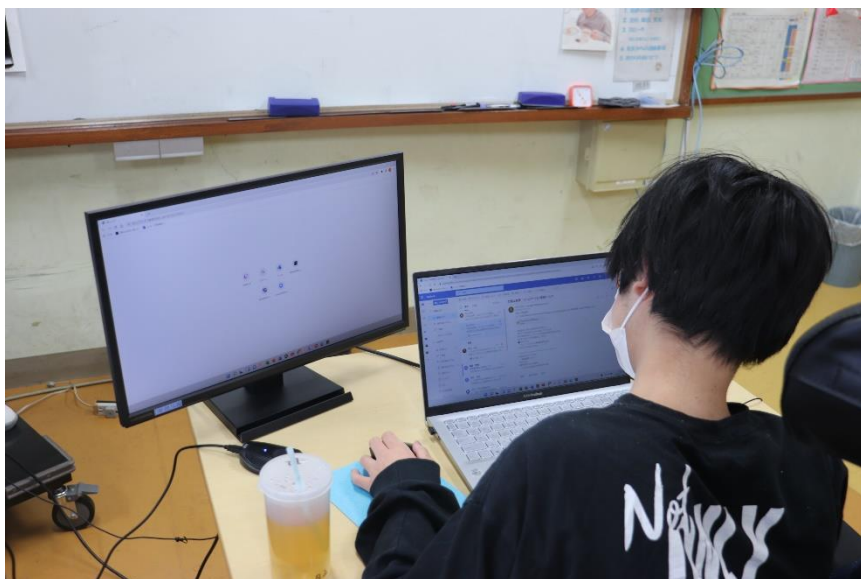
☆沖ワークウェル

沖グループの特例子会社である沖ワークウェル様は、通勤の困難な重度肢体障がいのある方々が自宅でパソコンとネットワークを活用してソフトウェア関連の業務を行う会社です。
自社のHPはもちろん、親会社である沖電気工業のHPも、沖ワークウェルの社員さんが作成しています。全国の支援学校と実習をされていますが、**大阪の支援学校と実習をするのは刀根山支援学校が初めて**で、実習中に**読売新聞社の取材も受けました！**

☆ワークウェルコミュニケーター：WWC

沖ワークウェルでは、独自で開発された「**ワークウェルコミュニケーター：WWC**」を活用してコミュニケーションを取りあっています。WWCを活用することで、**どこで働いていてもオフィスに居ることに近いコミュニケーション環境を実現しています！**

それでは、5日間の実習の様子をご覧ください。



☆在宅就労を疑似体験

沖ワークウェルの社員様から「実際の在宅就労では、隣に家族やヘルパーさんがいるとも限らないんです」「より実践的にされるなら、隣に教員がいなくても大丈夫か実習で確かめてみては」と打ち合わせて聞いていました。

そこで、生徒たちに在宅就労を疑似体験してもらうため、あえて HR 教室に一人で居るように設定しました。



☆生徒の様子をモニタリング

HR 教室のすぐそばの情報 B 教室で、実習の様子をモニタリングしました。Zoom で HR 教室の様子を繋いでいるので、生徒に異変が生じてもすぐに駆けつけることができます。

実習中は、教員はヘルパーとして振る舞い、「ヘッドフォンをつけ直す」「落ちたものを拾う」「トイレ休憩に付き添う」などの身体面での介助に徹しました。

生徒たちが果敢に実習に挑んでいる様子を、キャリア教育の基礎的・汎用的能力の 4 能力「自己理解・自己管理能力」「キャリアプランニング能力」「課題対応能力」「人間関係形成・社会形成能力」に分けて評価しました。具体的には、「実習と休憩の時間管理ができていないか」「正しく報告や連絡ができていないか」などです。



☆ワークウェルコミュニケーター

沖ワークウェル様が独自に開発されたバーチャルオフィスシステムで業務の指導を受けます。

WWCを活用すれば、同じ時間帯にログインしている社員と「声」あるいは「文章」で即座にやり取りをすることができます。遠く離れている者同士でも「〇〇の文書を作ってください」「文字サイズとフォントを修正してください」などの業務の指示のやり取りがスムーズに行うことができます。

逆に、相手に顔の表情や身振り手振りが伝わらない以上、コミュニケーションの際には、より丁寧に言葉を選ぶことが大切になります。



☆コミュニケーションの大切さ ～伝える・受け止める・確認する～

実習1日目は、コミュニケーション実習でした。コミュニケーションがうまくいかなければ、仕事は成立しません。伝えられたことを「きっと〇〇だろう」と早合点せず正しく受け止める。さらに、「△△ということよろしいでしょうか」ときちんと確認する。とても大事なことです。

令和●年●月●日

XXX 株式会社
営業部長 佐々木 三蔵様

株式会社沖ワークウェル
IT 第二チーム 沖田 一郎

展示会開催のご案内

拝啓 秋分の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社ではこのたび、恒例の展示会を下記のとおり開催することになりました。

ご多忙中のところまことに恐縮に存じますが、この機会に是非ご来臨賜り、ご高配いただきたくご案内申し上げます。

敬具

記

- 日 時：令和●年●月●日（●曜）10 時～
※9 時 30 分より受付
- 会 場：OWW ホテル 蘭の間
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-X-X
- 電話番号：03-3847-XXXX

■ 最寄り駅：

駅名	路線名	出口	所要時間
二重橋駅前	東京メトロ千代田線	1 番出口	徒歩 4 分
日比谷駅	都営三田線	B7 出口	
有楽町駅	J R 山手線	国際フォーラム口	

以上

☆ビジネス文書の作成

実習 2 日目は、まずはビジネス文書の作成からでした。Word で文章を打つことは慣れているので、見よう見まねですぐにできそう…と思いきや、「文字のサイズは?」「明朝体?ゴシック体?」「スペースで間隔を調整していいのかな…」「表の黒い箇所はどんな黒かな…」など、確認しなければいけないところがたくさん。

さっそく、コミュニケーションが大切です。まだまだ WWC に慣れていない生徒は、確認が不十分のようでした。「きっと、△△だろう」と思って作業していると、やはり確認不足を見抜かれ、修正をお願いされる場面がありました。

☆請求書の作成

また、Excel で請求書を作成する課題も与えられました。指示書に丁寧に内容が書かれているので、こちらも一人でできそうです。

しかし、やはり確認が大切です。関数が正しく入っていても、打ち込む数字が違っていると、当然ながら計算結果は変わってしまいます。

成果物としてメールにファイルを添付する際も、きちんと添付できているかの確認が必要です。WWC を使って「△△さん、今からメールを送ります」など、一言あるとスムーズにやり取りができることを少しずつ学ぶことができた様子でした。

請 求 書

13 OWWIT 第047号
2020年6月24日

株式会社沖電気工業

殿

毎々お世話になっております。
右記の通りご請求致します。

株式会社沖ワークウェル
〒108-8551
東京都港区芝浦4-11-17
2号館
TEL 03-5445-6805
FAX 03-3798-7085

請求金額

品名	単価	個数	小計
シャープペン	100	50	5,000
ボールペン(黒)	150	200	30,000
ボールペン(赤)	150	150	22,500
蛍光マーカー(緑)	180	120	21,600
消しゴム	50	50	2,500
バインダー	80	300	24,000
クリップ	250	10	2,500
ホッチキス	450	35	15,750
名刺立て	320	110	35,200
ネームプレート(紐付き)	200	100	20,000
合計			179,050
消費税			17,905
総合計			196,955



☆沖ワークウェルの社員様が来校

実習 3 日目は、東京と神奈川から 2 名の社員様が遠路はるばる来校されました。プログラミングに興味がある生徒にはプログラマーを、デザインに興味がある生徒にはデザイナーをそれぞれ WWC で繋いで話す機会を設けてくれました。「実習だからといって、かたくなりすぎないようにね」「仕事は楽しくした方が良いでしょう♪」などのアドバイスもいただくことができました。

☆読売新聞社の取材

大阪の支援学校で初めて沖ワークウェル様と遠隔職場実習をしているということで、取材を受けました。

とても緊張したけれど、頑張ってインタビューに答えることができました。

パソコンを活用して在宅就労ができる企業があるのは魅力的です。



背景色が切り替わるように設定してみよう。

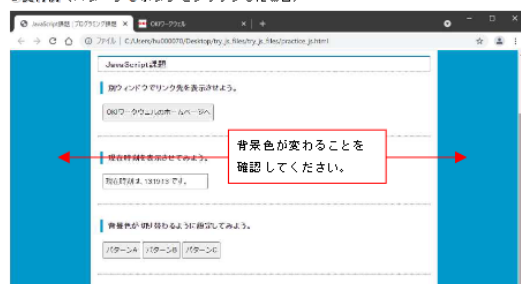
- ① メモ帳で practice_js.html を開きましょう。(すでに開いていれば省略)
- ② **★★★ 背景色切り替え**の下にコードを記述しましょう。
- ③ コードは以下です。(以降の赤字は説明なので、記述不要です。)

```
function bgtype010{ // パターン A の設定
document.body.style.backgroundColor = "#333333"; // 色はグレー
}

function bgtype020{ // パターン B の設定
document.body.style.backgroundColor = "#33cc99"; // 色はグリーン系
}

function bgtype030{ // パターン C の設定
document.body.style.backgroundColor = "#0099cc"; // 色はブルー系
}
```

●実行例 (パターンC ボタンをクリックした場合)



document.body.style.backgroundColor の内容は以下です。
Web ページの、body 要素の、スタイルシート (CSS) の、背景色を変更せよ。
※ body 要素や CSS はホームページ制作での学習項目です。

☆プログラミング実習

実習 3 日目後半から 5 日目までは、それぞれの生徒が得意とする分野の課題を出していただきました。高 1 生徒はプログラミングです。

ブラウザ上で Web ページをダイナミックに動かすためのプログラムである「JavaScript」を初めて体験しました。

指示書を読み、順調にコードを打っていますが、うまく動かないこともありました。そんな時は WWC をうまく活用し、指導員である社員に積極的に質問することができました。

最初はコミュニケーションがうまくできなかったこともありましたが、実習の終盤にはしっかり慣れた様子でした。

「Scratch や VBA で学んだことを活かすことができた」「実習が終わっても JavaScript や jQuery を学んでいきたい」と話していました。

☆デザイン実習

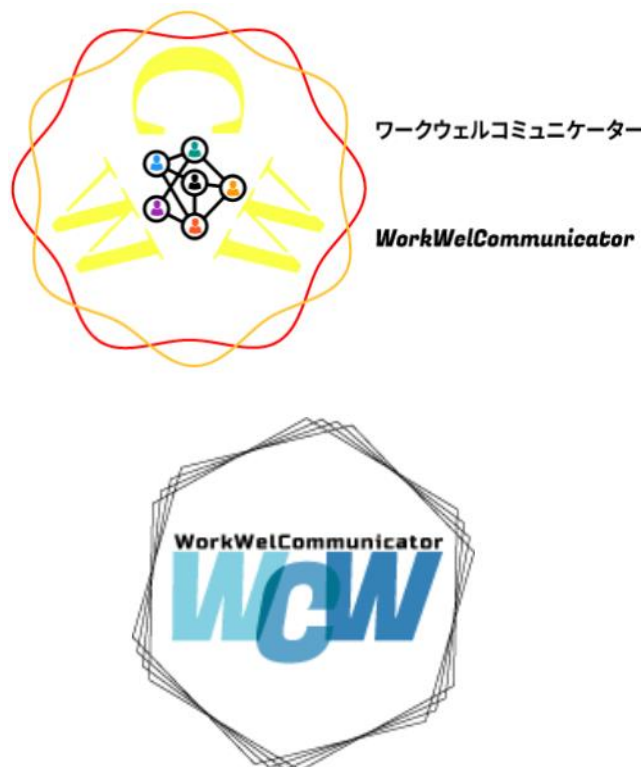
高 2 生徒は、デザインの実習に取り組みました。WWC のロゴマークを作成するという課題です。

デザインには「たった一つの正解」はなく、楽しい面でもあり、苦しい面でもあります。さらに、仕事となるとクライアント(顧客、依頼人、取引先)の要望に沿うようなものに仕上げる必要があります。

インターネットにある無数のデザイン例を眺めながらも、要望に沿うようなデザインを模索し、illustrator で描画し、ようやく一例(画像上)ができあがりました。

しかし「実際のコンペティション(デザインの競技会)では複数のデザイン例を提示する必要がある。」と言われ、もう一例(画像下)作ることになりました。さらに、なぜこのようなデザインにしたのかについての文章も添える必要がありました。

「デザインの仕事を疑似体験できてうれしかった。大変だったけど楽しかった」と話していました。



実習を通して、コミュニケーションの大切さ、在宅就労の可能性を体感することができました。

沖ワークウェルの社員の皆様、5 日間本当にありがとうございました！！